

登録コード	HM248200	開講年度	2026					
授業題目	医療生命科学特別研究					担当教員	矢崎 正英	
英文授業名	Research Thesis (Doctor's) in Health and Medical Sciences					副担当		
単位数	6	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	医療生命科学ユニット／1～3年次
講義室				授業形態	演習	備考	必須科目	
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	(授業の達成目標)	
	2026HM保健学分野加, 2025HM保健学分野加, 2024HM保健学分野加, 2023HM保健学分野加							
	【研究科共通_2024年度以前加修対象】専門分野以外の課題を見渡し自身の研究課題の社会的意義を再認識する俯瞰力					⇔	研究テーマにそって研究を行うことにより健康基礎科学の高度な専門知識と研究・開発能力を獲得する。	
	【専攻】医学・保健学研究の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力					⇔	研究テーマにそって研究を行うことにより健康基礎科学の高度な専門知識と研究・開発能力を獲得する。その成果を発表し、博士論文としてまとめることができるようになる。	
(2)詳細/Detailed information	異常蛋白蓄積病の代表疾患であるアミロイドーシスについて、アミロイド蛋白の解析からアミロイドーシス病態解析・発症機序解明に関する研究を行う。本授業は、担当教員の医療現場における神経内科医としての実務経験を活かして講義を行う。							
(3)授業の概要/Overview of course	各教員の研究テーマにそって研究を行うことにより健康基礎科学の高度な専門知識と研究・開発能力を獲得する。 また、その成果を発表し、博士論文としてまとめることができるようになる。							
(4)授業計画/Course plan	日時は受講学生と検討のうえ決定する。 1) 研究テーマにそって文献調査および予備実験のデータを踏まえて実験計画を立てる。 2) 計画にそって実験および調査を実施する。 3) 実験や調査結果をまとめ、その結果を評価・考察する。 以上のような研究サイクルによって研究テーマを発展させる。 その成果を学会等において発表し、最終的には原著論文としてまとめる。 教員は、討論および研究方法の助言を通して研究推進をサポートする。							
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	研究成果に関するレポートによる評価。 基準に関しては以下の通りとする。 (i) 問題の設定が適切であり、(ii) その問題の背景を説明できており、(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており、(v) その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している(秀)」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある(優)」。4項目までできていれば「やや上にある(良)」。3項目までできていれば「水準にある(可)」。							
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep work/Textbook(s)/Reference work(s)	【テキスト】 特になし 【参考書・参考資料等】 各研究テーマおよび関連する研究領域の原著論文および総説							
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	オフィスアワー：随時質問や相談を受け付ける。 mayazaki@shinshu-u.ac.jp							
(8)授業の形式/Course format	研究を実践しながら科学的思考および討議を行う。							